

## 上越市総合教育会議 次第

日時：令和元年11月5日（火）

午後1時30分～3時00分

会場：上越市役所木田庁舎 401会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 協 議

困難を抱える若者の自立に向けた教育的支援の場づくり

4 その他

5 閉 会

令和元年度 上越市総合教育会議 出席者

○ 構成員

| 役 職               | 氏 名     |
|-------------------|---------|
| 上越市長              | 村 山 秀 幸 |
| 上越市教育委員会 教育長      | 野 澤 朗   |
| 上越市教育委員会 教育長職務代理者 | 濱 祐 子   |
| 上越市教育委員会 委員       | 中 野 敏 明 |
| 上越市教育委員会 委員       | 本 間 倫 子 |
| 上越市教育委員会 委員       | 大 谷 和 弘 |

○ 市長部局関係職員

| 役 職                      | 氏 名     |
|--------------------------|---------|
| 理事                       | 高 橋 一 之 |
| 総務管理部 総務管理部長             | 八 木 智 学 |
| 健康福祉部 健康福祉部長             | 大 山 仁   |
| 総務管理部 総務管理課長             | 金 山 幸 宏 |
| 総務管理課参事                  | 岩 野 稚 透 |
| 健康福祉部 すこやかなくらし包括支援センター所長 | 渡 辺 晶 恵 |
| こども課長                    | 宮 崎 恵 子 |
| 産業観光交流部 産業政策課長           | 佐 藤 信 二 |

○ 教育委員会事務局関係職員

| 役 職               | 氏 名       |
|-------------------|-----------|
| 上越市教育委員会 教育次長     | 早 川 義 裕   |
| 教育部長              | 柳 澤 祐 人   |
| 教育総務課長            | 金 子 良 仁   |
| 教育総務課参事           | 藤 田 賢 一 郎 |
| 学校教育課長            | 宮 川 高 広   |
| 社会教育課長            | 小 嶋 栄 子   |
| 青少年健全育成センター所長     | 山 崎 光 隆   |
| その他、上記各課副課長、担当職員等 |           |

# 困難を抱える若者の自立に向けた教育的支援の場づくり

## 1 問題の所在

(1) 内閣府全国ひきこもり調査結果の公表から・・・(資料No.1参照)

\*15歳～64歳までの全国のひきこもり：115.4万人(推計)

(2) 上越市のひきこもり状況はどうか・・・

\*上越市のひきこもり推計 <内閣府全国ひきこもり調査の出現率から試算>

\*15歳～64歳までの上越市のひきこもり：1,641人(推計)

(3) 義務教育終了後の若者の状況はどうなっているのか・・・(資料No.2参照)

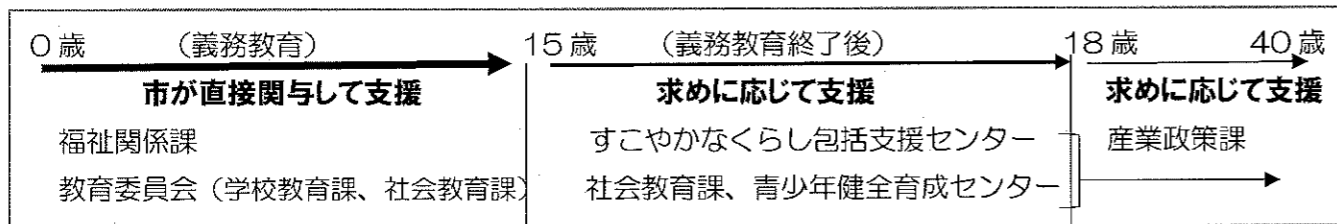
\*新潟県の高等学校在籍者の不登校、中途退学者数は公表されているが、上越市内高等学校在籍者の状況は公表されていない。(上越市内生徒の99.6%は高等学校に進学)

\*高等学校卒業後の若者の状況も把握できていない。

H30年度、青少年健全育成センターでの延べ相談対応件数は110件  
主なものは  
・高等学校での不適應(不登校、転学等)の相談  
・高等学校卒業後のひきこもりの相談

ひきこもり  
対策の必要性を実感

(4) 上越市としての対応の状況は?・・・(資料No.3参照)



\*15歳(義務教育終了)以降の支援が希薄な状況にある。

(5) 目をつぶれば何の影響もないが、放置することで・・・

・家庭が保護しているので社会的な影響は感じない・・・高齢化→8050問題、共倒れ家庭  
(目を背ければ自分に直接影響ない)

餓死、犯罪、生活保護

・上越市の次世代へのつけを回す結果となる・・・少子高齢化の中でのひきこもり割合増加  
(優秀な人材は市外へ)

貧困問題、結婚問題、虐待問題・・・

(6) 青少年健全育成センターの教育的支援の試み(若者育成支援事業)

【基本的な考え方と取組】

- ・義務教育終了後に困難を抱えて自立できないでいる若者に寄り添い、教育的な支援を行うことで若者の自立を援助する。
- ・「居場所」での生活や学習、体験活動等の支援を中核とし、ひきこもりへの発展や長期化を防ぎ、自立のための活力や社会性の育成を目指す。

- ・若者を「居場所」に誘導し支援を充実させるための関連事業を実施する。
- ・援助対象者は、義務教育終了後から概ね20歳代までの比較的軽度な若者とする。
- ・専門的支援が必要と判断されるケースは福祉関係や病院等の支援の場へつないでいく。

\*福祉的支援は生きるための条件整備であり、教育的支援は生きる活力や技能の育成と捉える。よりよく生きていくためには両面からの支援が必要である。

取組の実際とそこから見えてきたものは・・・

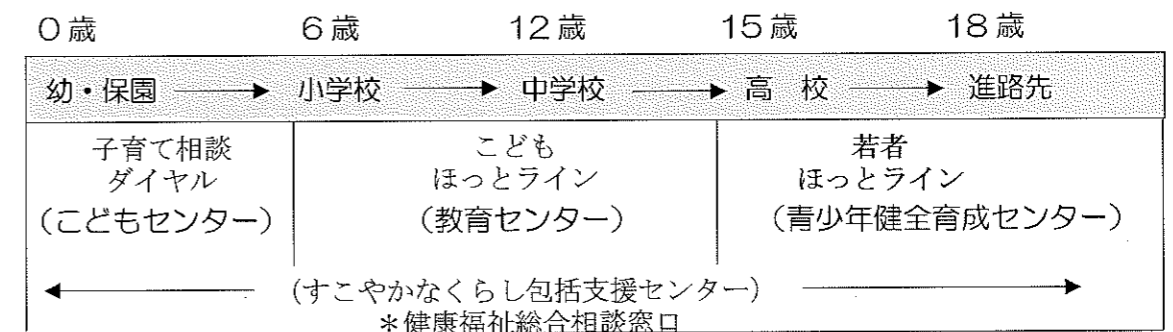
## 2 青少年健全育成センターの若者育成支援事業

(1) 事業の実際

① 相談窓口の設置と対応・・・【義務教育終了後の支援の窓口】(電話、面談、アウトリーチ)

☆義務教育終了後の相談窓口を設置し周知する。(若者ほっとライン)

(中学校3年・高校生の保護者、市施設・ホームページ、関係団体等にPR)



② 居場所(Fit)での支援・・・【若者の自立支援の場】・・・(資料No.4参照)

☆家庭外の生活・活動の場所を準備し、そこでの活動を通して社会的自立の力を育む。

- ・開設時間 午前9時～午後5時(月～金曜日、祝日・閉庁日を除く)
- ・開設場所 教育プラザ会議室・若者元気塾等を借用し開設(現在定位置なし)
- ・対象 15歳以降で通所して来られる若者(概ね20歳代まで)
- ・育てる力 できるという自信・意欲 集団への適応力 将来への目標
- ・活動内容 自分で活動の計画を立て指導員等が活動を支援する。

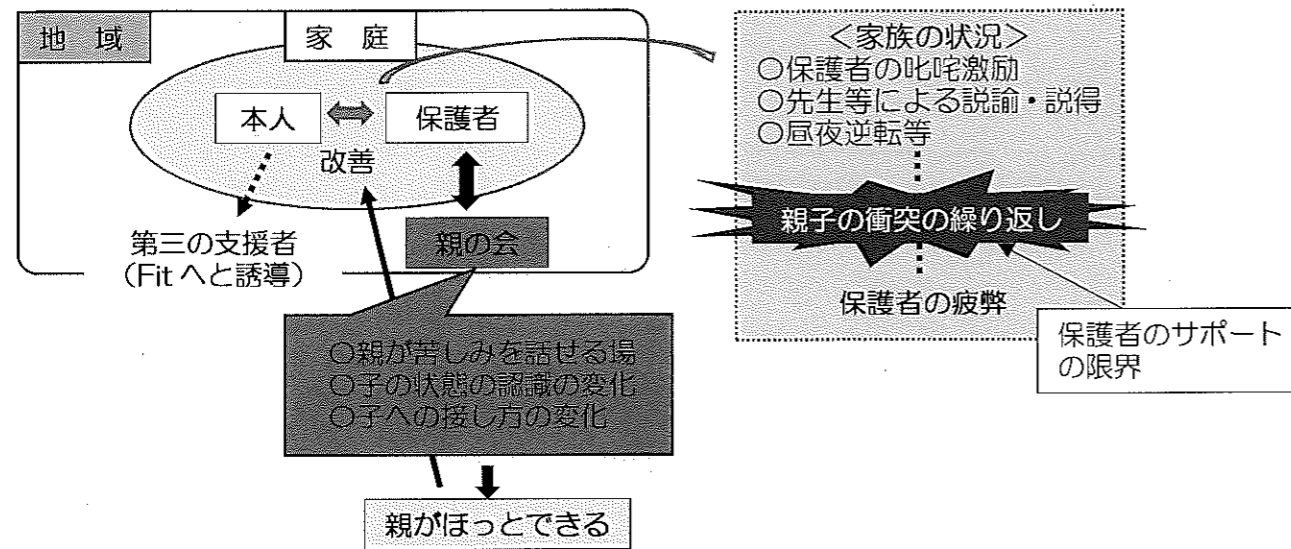
(相談、学習活動、就職活動、体験活動等)

(傾合いを見て) 次のステージへ移行

- ・学校につなぐ
  - ・就労につなぐ
  - ・医療につなぐ
  - ・福祉につなぐ など
- (アフターとしての相談・支援も)

③ 上越市親の会の開設・・・【保護者支援の場】

☆保護者の精神的安定を図り認識を変えることで、家庭での子の生活環境を整えていく。  
(ピアサポーターのリードで親の気持ちを話し合う。カウンセラーとの面談もできる)



④ その他

- 支援機関・団体のネットワークを支援へつなげる活動
  - ☆支援団体のネットワークによる協働支援の実現を図る。
    - ・若者応援セミナーの開催・・・若者・保護者の学習の機会
    - ・若者育成支援フォーラムの開催・・・ひきこもりの理解と支援団体の紹介
    - ・若者育成支援進路研修の実施・・・義務教育終了後の進路を考える
    - ・「つなぎナビ」の配布・・・支援団体の紹介・・・(別冊参照)
- 若者育成支援の人材育成
  - ☆若者育成支援の知識と技能を学習し、若者支援をリードする人材を育てる。
    - ・ユースアドバイザー(支援員)養成講座の開設・・・将来は支援の協力者へ

3. H30年度からの取組状況(実績)・・・(資料No.5参照)

- (1) 相談延べ対応件数 H30:110件 → R1:93件(9月まで)  
(主な相談・・・不登校、就職、ひきこもり)
- (2) 居場所(Fit)の利用者 H30:1人 → R1:4人  
(主な活動:学習、体験活動) アウトリーチから就労へ
- (3) 上越市親の会の参加者 H30:92人(年5回) → R1:53人(3/6回終了)
- (4) 支援機関・団体のネットワークを支援へつなげる活動
  - ・ネットワーク集会 H30:年5回 → R1:2/3回終了)
  - ・若者応援セミナー参加者 H30:16人 → R1は廃止へ
  - ・若者支援フォーラム参加者 H30:70人 → R1:若者育成支援進路研修 38人
  - ・つなぎナビの配布 H30.11～ 約450部配布(中・高校、機関期間、保護者等)
- (5) 若者育成支援の人材育成
  - ・ユースアドバイザー(支援員)養成講座 H30:38人 → R1:55人

4 取組から見てきたもの(今後の取組)

(1) 若者の教育的な支援の場【居場所(Fit)】の早期整備・・・(資料No.6参照)

予約利用からいつでも利用できる環境へ (やすづか自由学園のイメージ)

①行動から生き方への目標を引き出す支援の拠点として  
(自宅外で活動することから生きる活力や目標を育てる)

- ・気力、体力を養う
  - ・やることを自分で決める
  - ・集団への適応力をつける
  - ・自己の特性を自覚する
- 社会的自立の方向に向かって動き出せる力を育てる。  
(教育的支援の場)

②早期対応による悪化防止・早期回復の拠点として

- (自宅に閉じこもる状態を習慣化させない)
- ・問題の悪化・長期化を防ぐ(二次障害への進行防止)
  - ・具体的支援を実行する場とする(行く場所がある、やる場所がある)

そのために・・・ 居場所の確保と整備、指導スタッフの増員が必要

(2) 新たなひきこもりを生み出さない取組の強化(参加者の声・様子から)

①保護者とともに取り組む活動の重視(相談の約9割は保護者から)

・「上越市親の会」・・・  
話を聴いてもらってほっとした。悩みを共有できた。子を理解しようと思った。頑張る元気がでた。など

保護者を孤立させない取組から家庭の状況を変える

(保護者の覚悟が子の回復を早める)

\*参加者の多くは子の集団への不適応に悩む現状から、集団への適応能力の育成を関係機関で検討していく必要がある。

(資料No.2参照)

②活動の継続から生きる力を育てる指導を重視

・「居場所(Fit)」利用者等から

- ・17歳(男)・・・高校進学直後から不登校、転学したが登校できずFitで学習継続
- ・17歳(男)・・・高校3年生で不登校、転学したが登校できずFitで学習、大学進学
- ・16歳(男)・・・高校1年生で不登校、Fitで相談し転学して学習中
- ・20歳(男)・・・高校卒業後在家、今後の方向が決まらずFitで体験活動継続(その他)
- ・31歳(男)・・・大学卒業後在家、手紙・面談からアルバイト開始、継続中
- ・34歳(女)・・・高校卒業後在家、面談・就職支援からパート労働を開始

活動の継続により将来への展望を考えさせる

(寄り添う支援で自己有用感を高める:意欲=困難の克服)

全国引きこもり調査結果から

■ 全国の実態

内閣府全国ひきこもり調査  
満15歳～満39歳 (27年度)  
満40歳～満64歳 (30年度)

| 区分      | 状況分類  | 満15歳～満39歳<br>(3,445万人) |         | 満40歳～満64歳<br>(4,235万人) |         | 満15歳～満64歳<br>(7,680万人) |
|---------|---|------------------------|---------|------------------------|---------|------------------------|
|         |   | 出現率(%)                 | 推計数(万人) | 出現率(%)                 | 推計数(万人) |                        |
| 準ひきこもり  | ・普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する                               | 1.06                   | 36.5    | 0.58                   | 24.8    | 61.3                   |
| 狭義ひきこもり | ・普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける<br>・自室からは出るが、家からは出ない又は自室からほとんど出ない | 0.51                   | 17.6    | 0.87                   | 36.5    | 54.1                   |
| 計       |   | 1.57                   | 54.1    | 1.45                   | 61.3    | 115.4                  |

上越市のひきこもり推計  
内閣府調査結果からの推計  
\*人口はH31.4.1数値：全人口192,068人

| 区分      | 状況分類  | 満15歳～満39歳<br>(47,070人) |        | 満40歳～満64歳<br>(62,148人) |        | 満15歳～満64歳<br>(109,218人) |
|---------|---|------------------------|--------|------------------------|--------|-------------------------|
|         |   | 出現率(%)                 | 推計数(人) | 出現率(%)                 | 推計数(人) |                         |
| 準ひきこもり  | ・普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する                               | 1.06                   | 499    | 0.58                   | 361    | 860                     |
| 狭義ひきこもり | ・普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける<br>・自室からは出るが、家からは出ない又は自室からほとんど出ない | 0.51                   | 240    | 0.87                   | 541    | 781                     |
| 計       |   | 1.57                   | 739    | 1.45                   | 902    | 1,641                   |

■ ひきこもり状態になった年齢

| 年齢区分   | 15歳～19歳 | 20歳～24歳 | 25歳～29歳 | 30歳～34歳 | 35歳～39歳 | 40歳～44歳 | 45歳～49歳 | 50歳～54歳 | 55歳～59歳 | 60歳～64歳 | 無回答 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 出現率(%) | 2.1     | 12.8    | 14.9    | 6.4     | 2.1     | 12.8    | 8.5     | 8.5     | 10.6    | 17.0    | 4.3 |

■ ひきこもり状態になってからの期間

| 期間区分   | 6ヶ月～1年 | 1年～2年 | 2年～3年 | 3年～5年 | 5年～7年 | 7年～10年 | 10年～15年 | 15年～20年 | 20年～25年 | 25年～30年 | 30年以上 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 出現率(%) | 6.4    | 14.9  | 6.4   | 21.3  | 4.3   | 10.6   | 6.4     | 10.6    | 10.6    | 2.1     | 6.4   |
|        | 49.0   |       |       |       | 51.0  |        |         |         |         |         |       |

■ ひきこもりの状態となったきっかけ

- ① 退職したこと
- ② 人間関係がうまくいかなかったこと
- ③ 病気
- ④ 職場になじめなかったこと
- ⑤ 就職活動がうまくいかなかったこと

上越市における高等学校不登校生徒数の推計値

|                 | 27年度   |     | 28年度   |     | 29年度   |     | 30年度   |     |
|-----------------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|                 | 新潟県    | 上越市 | 新潟県    | 上越市 | 新潟県    | 上越市 | 新潟県    | 上越市 |
| *1 在籍生徒数        | 62,246 | ( ) | 61,206 | ( ) | 60,231 | ( ) | 58,301 | ( ) |
| 不登校生徒数          | 1,158  | ( ) | 1,136  | ( ) | 1,165  | ( ) | 1,222  | ( ) |
| 1000人当たりの不登校生徒数 | 18.6   | ( ) | 18.6   | ( ) | 19.4   | ( ) | 21.0   | ( ) |

\*1: 生徒数は各年度5月1日在籍生徒数(通信制生徒数を含まない)

上越市における高等学校中途退学生徒数の推計値

|           | 27年度   |     | 28年度   |     | 29年度   |     | 30年度   |     |
|-----------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|           | 新潟県    | 上越市 | 新潟県    | 上越市 | 新潟県    | 上越市 | 新潟県    | 上越市 |
| *1 在籍生徒数  | 64,882 | ( ) | 63,771 | ( ) | 62,735 | ( ) | 60,781 | ( ) |
| *2 中退者生徒数 | 915    | ( ) | 799    | ( ) | 849    | ( ) | 711    | ( ) |
| 発生率       | 1.4    | ( ) | 1.3    | ( ) | 1.4    | ( ) | 1.2    | ( ) |

\*1: 生徒数は各年度4月1日在籍生徒(通信制生徒数を含む)

\*2: 1/1000以下は四捨五入してあるため計算上の中退者生徒数とは異なる。

(参考)

上越市の不登校児童生徒の推移

| 学校別  | 全国比較 | 26年度   |               | 27年度   |               | 28年度    |               | 29年度    |               | 30年度    |               |
|------|------|--------|---------------|--------|---------------|---------|---------------|---------|---------------|---------|---------------|
|      |      | 人数     | 1,000人あたりの生徒数 | 人数     | 1,000人あたりの生徒数 | 人数      | 1,000人あたりの生徒数 | 人数      | 1,000人あたりの生徒数 | 人数      | 1,000人あたりの生徒数 |
| 小学生  | 全国   | 25,864 | 3.9           | 27,581 | 4.2           | 31,151  | 4.8           | 35,032  | 5.4           | 44,841  | 7.0           |
|      | 新潟県  | 436    | 3.8           | 458    | 4.0           | 474     | 4.2           | 560     | 5.0           | 701     | 6.4           |
|      | 上越市  | 17     | 1.6           | 27     | 2.7           | 26      | 2.6           | 30      | 3.1           | 44      | 4.6           |
| 中学生  | 全国   | 97,033 | 27.6          | 98,428 | 28.3          | 103,247 | 30.1          | 108,999 | 32.4          | 119,687 | 36.5          |
|      | 新潟県  | 1,692  | 26.4          | 1,633  | 26.3          | 1,717   | 28.3          | 1,759   | 29.9          | 1,935   | 33.8          |
|      | 上越市  | 117    | 22.1          | 123    | 24.4          | 99      | 20.6          | 117     | 25.3          | 140     | 30.6          |
| 小中合計 |      | 134    |               | 150    |               | 125     |               | 147     |               | 184     |               |

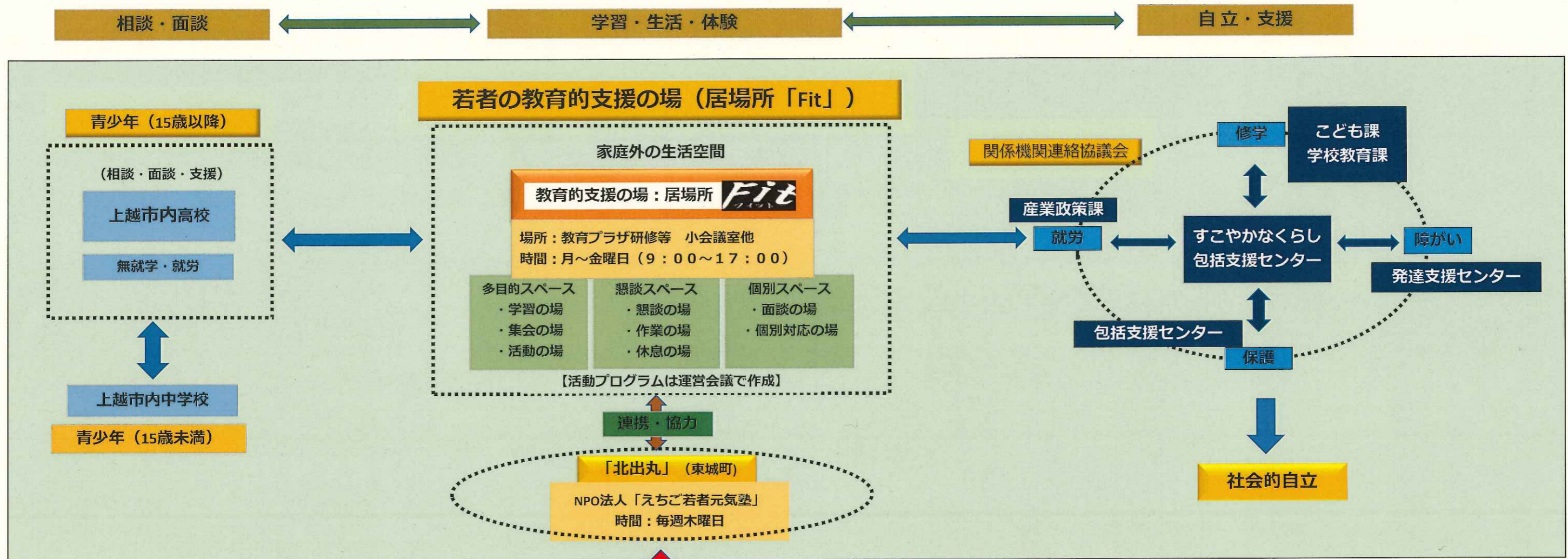
上越市子ども・若者育成支援の関係図（概略）

H31.4 青少年健全育成センター



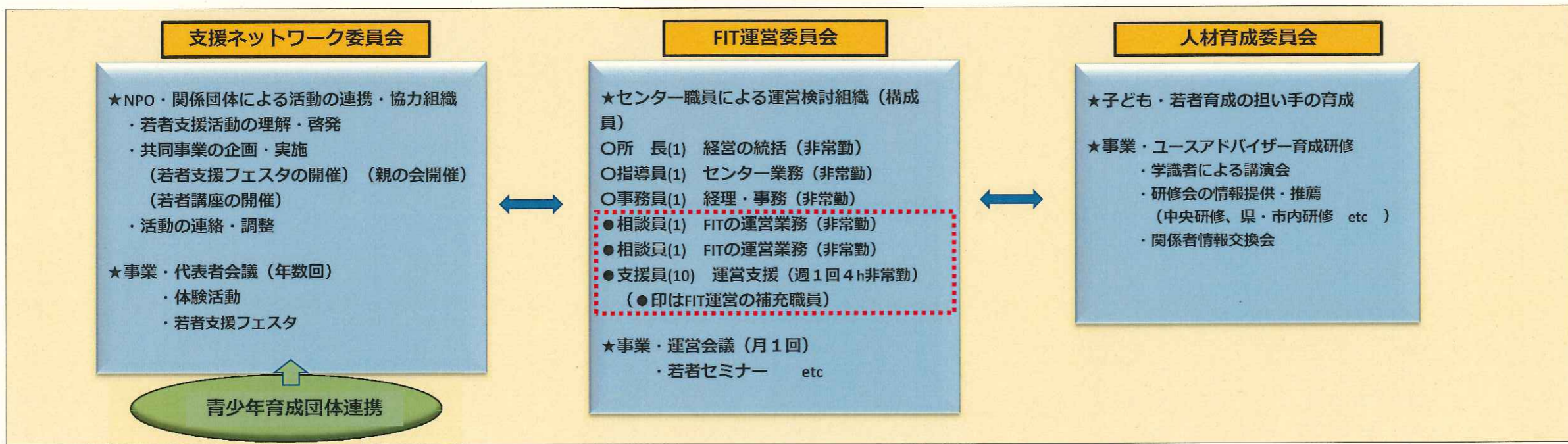
（人口はH29年度末の数値）

# 若者育成支援の運営組織図（案）



\* Fitの名称：「若者が自分の課題に合った活動や時間を過ごせる場」の意味。英語

## 「FIT」の運営



平成30年度 若者育成支援事業の実施状況  
(青少年健全育成センター)

1 目的  
・0歳から18歳までの途切れのない支援を充実するため、関係機関と連携し若者の自立支援に向けた取組を推進する。

2 主な若者育成支援事業

(1) 若者支援活動の周知活動 (ポスター・チラシ、広報じょうえつ・市ホームページ等で周知)  
・相談窓口「若者ほっとライン」の周知 ・小・中・高等学校の校長会等での協力依頼

(2) 相談・面談活動

【相談件数・内容】

| 月  | 件数  | 電話相談 | 対面相談 | 訪問相談 | 内 容 |     |       |     |
|----|-----|------|------|------|-----|-----|-------|-----|
|    |     |      |      |      | 不登校 | 就 職 | ひきこもり | その他 |
| 合計 | 110 | 39   | 58   | 13   | 53  | 3   | 21    | 33  |

【相談者 (電話, 面談者)】

|      | 本人・直接 | 保護者等 | 合 計 |
|------|-------|------|-----|
| 電話相談 | 30    | 9    | 39  |
| 対面相談 | 34    | 24   | 58  |
| 訪問相談 | 7     | 6    | 13  |
| 合 計  | 71    | 39   | 110 |

【相談対象者内訳】

|       | 男 性 | 女 性 | 合 計 | 備 考        |
|-------|-----|-----|-----|------------|
| 高校生   | 5   | 4   | 9   |            |
| 18歳以上 | 6   | 2   | 8   |            |
| その他   |     | 1   | 1   | 中学生、進学について |
| 合 計   | 11  | 7   | 18  |            |

(3) 「若者の居場所 (Fit)」の開設 (困難を抱える若者支援の場所: 随時開設)

- ・場所: 教育プラザ研修棟 小会議室他
  - ・時間: 月～金曜日 午前9時～午後5時 (土・日曜日・祝祭日を除く)
  - ・対応内容: ①学習・談話 ②相談 ③体験活動 他
- 【平成30年度実績 1人 (継続利用) 9月以降25回程度通所】

(4) 「若者応援セミナー」の開催 5回実施 参加者16人

(5) 「上越市親の会」の開設 5回実施 参加者92人

(6) 若者育成支援団体の支援ネットワークの構築

- 若者支援を実施する民間団体の情報共有と連携体制を構築するため、若者支援フォーラム及びネットワークづくり集会を開催し、協力して活動ができるようにする。
- ① 若者支援フォーラムの開催・・・参加者70人  
・期日・会場 平成30年11月23日 (金) 市民プラザ

- ・内容 ○基調講演 テーマ 「困難を抱える若者の実態と支援の手だて」  
講 師 新潟青陵大学 教授 斎藤 まさ子  
○市内支援団体の取組紹介と参集者との意見交換  
発表者 (3団体) ・えちご若者元気塾 (若者支援活動)  
・上越親子劇場 (不登校親の会)  
・KHJ 秋桜の会 (ひきこもり親の会)
- ② ネットワークづくり集会・・・10団体参加  
・10月、11月、2月に開催 (若者支援フォーラム、協働活動の実施、情報交換等)
- ③ 「若者支援つなぎナビ」(若者支援団体、相談機関等をまとめた冊子) の編集、配布

(7) ユースアドバイザー養成講座の開設 (3講座)・・・参加者38人

参考 令和元年度上半期の相談状況

| 月  | 件数 | 電話相談 | 対面相談 | 訪問相談 | 内 容 |     |       |     |
|----|----|------|------|------|-----|-----|-------|-----|
|    |    |      |      |      | 不登校 | 就 職 | ひきこもり | その他 |
| 4月 | 13 | 2    | 11   | 0    | 8   | 3   |       | 2   |
| 5月 | 21 | 7    | 13   | 1    | 11  | 2   | 1     | 7   |
| 6月 | 17 | 5    | 12   |      | 9   | 4   |       | 4   |
| 7月 | 17 | 6    | 11   |      | 8   | 3   |       | 6   |
| 8月 | 12 | 6    | 5    | 1    | 3   | 2   | 1     | 6   |
| 9月 | 13 | 6    | 7    |      | 4   | 3   |       | 6   |
| 合計 | 93 | 32   | 59   | 2    | 43  | 17  | 2     | 31  |

※ 対面相談はFitへの参加も含む

【相談者 (電話, 面談者)】

|      | 本人・直接 | 保護者等 | 合 計 |
|------|-------|------|-----|
| 電話相談 | 30    | 2    | 32  |
| 対面相談 | 54    | 5    | 59  |
| 訪問相談 | 0     | 2    | 2   |
| 合 計  | 84    | 9    | 93  |

【相談対象者内訳】

|       | 男 性 | 女 性 | 合 計 | 備 考        |
|-------|-----|-----|-----|------------|
| 高校生   | 5   | 3   | 8   |            |
| 18歳以上 | 2   | 0   | 2   |            |
| その他   | 1   | 0   | 1   | 中学生、進学について |
| 合 計   | 8   | 3   | 11  |            |

「若者の居場所 (Fit)」の利用者 4人

- A 男 17歳 高校1年不登校から通信制高校に転学、その後も不登校 Fitで学習
  - B 男 20歳 通信制高校卒業、その後の進路が未定 Fitで体験活動等
  - C 男 17歳 病気から集団不適應で 通信制高校へ転学 Fitで学習し大学進学へ
  - D 男 16歳 高校1年不登校から通信制高校に転学、Fitに関わりながら学習中
- その他 (継続支援している者)
- アウトリーチ ・男 31歳 (ひきこもりからアルバイトへ) 月1回程度
  - ・女 34歳 (ひきこもりからパート就労へ) アフターフォロー中
  - 電話継続支援 ・男 17歳 (友人関係の悩み) 週1～2回程度 など



居場所を核とする若者育成支援事業（イメージ図）

